



編集後記 職場のアトラス

♪空~と君との間には、今日も冷たい雨が降る♪

中島みゆきさんが作った30年前のドラマの主題歌です。

この歌詞が、主人公の少女（安達祐実ちゃん）が唯一心を許している犬の目線から書かれたと知ったときは、「さっすが中島みゆきさん、すごい！」と改めてリスペクトしました。（^o^）

さて、遙かギリシャ神話では、空と地上の間に存在する特別なもの（？）があります。

それは、天空を支える巨神「アトラス」。その昔、神々の世代交代を巡る大きな戦争では、

アトラスは古い秩序を守ろうとする神々の側について、新しい秩序を打ち立てようとするゼウス率いるオリュンポス神族に抵抗しました。戦いはゼウスたちの勝利に終わり、敗北した神々はそれぞれ厳しい罰を受けることになります。なかでもアトラスに課せられたのは、とても過酷な運命でした。

それは、計り知れぬほど重い天空（天球）を永遠に支え続けること。（古代では丸いのは地球ではなく天空の方でした）この世は天地が分かれていることで秩序が保たれる。アトラスが天を支えることで世界は安定する。

だから、アトラスは秩序の象徴と言われているのです。（@o@）

同情するなら
金をくれ！
当時子役だった
安達祐実ちゃん
の健気な演技に
泣かされました



筋肉隆々ながら片膝をつき苦悩の表情を浮かべながらも重い天球を支える表紙のアトラスの像は、約2000年前に製作された大理石の彫刻です。いつの時代であっても、たとえ神々であっても、生きている限り、苦悩から解放されることはないと言っているように思います。（^-^）

天と地の間で、重い天空（天球）を肩にしょって片膝をついてもなお秩序を守ろうとするアトラスの姿は、上からの圧力と下からの期待に苦悩する管理職の姿と少し被るような気がします。（^~^）

転職サービスを展開する株式会社マイナビが発表した「管理職の中途採用・管理職転職に関する調査」によると、**管理職を中途採用した割合はこの4年で10%以上上昇**し、約5割の49.6%となったとのこと。
マイナビ「管理職の中途採用・管理職転職に関する調査 2025年(2025/10/7)」より

会社・組織を動かす中核となる管理職ですが、ちまたでは管理職になりたくないという若手社員が増え、管理職になることは「**罰ゲーム**」と表現されることもあるようです。

週刊 東洋経済
2025.8.2号



配偶者の扶養から脱することを拒むパート社員にとって、上昇を続ける最低賃金は労働時間を一段と制約する要因となっており、人手不足をさらに深刻にしています。その分カバーするのは正社員。でも長時間労働は避けさせなければならないと、中小企業においては残業手当に関係のない管理職や経営者にシワ寄せがいくことが多いと聞きます。介護離職のリスクを抱える年代が管理職。でも管理職の負荷は益々増えています。（>_<:）

マイナビの管理職の転職増加調査に関連して、気になるデータがあります。

東京商工リサーチは、先頃2025年1-9月の「人手不足」倒産が過去最多を更新したと発表しました。

その内訳の中でも急増していると指摘しているのが、「**従業員退職**による人手不足倒産です。

管理職の転職が増えているという事実は、つまりは管理職の退職が増えているということ。

会社の中核である管理職の退職は、人手不足倒産につながる大きな要素となりえます。



管理職になりたくないという若手が増えるのは、身近な管理職に魅力がない、ということではないでしょうか。若手社員は自分の将来と身近な上司の姿を重ねるもの。未来に明るい希望が持てないとなれば、上昇志向の高い人ほど退職を考えます。大転職時代と言われる昨今、会社のTOPは、管理職がやりがいを持って仕事ができるにはどうしたらいいか、考えるときに来ているのかもしれません。

社員にとって**最大の職場環境は上司**。

管理職を罰ゲームにしてしまっては、会社の健全な未来はないと思うのです。

管理職の方が、自分自身の**働きがい**や**自分の夢**を、部下の皆さんに語れるようなそんな職場だったら素敵ですよね。（^o^）

